

令和7年度 第2回公開レッスンについて

12月22日、本校では愛知県立芸術大学准教授・ブルックス信雄トーン先生をお迎えし、音楽科生徒全員を対象とした公開レッスンを実施いたしました。

レッスンに先立ち、先生によるクラリネットのミニコンサートが行われました。「重厚かつ軽やか」と相反する要素を見事に両立させた響きがホールに広がり、深い説得力をもつ大人の音楽を披露していただきました。

レッスンでは、生徒一人ひとりに寄り添いながら、得意な部分はさらに伸ばし、課題のある箇所には的確なアドバイスをいただきました。一音一音へのこだわりや、フレーズごとの模範演奏を通して、生徒が自ら弱点に気づき、改善へとつなげる姿勢を丁寧に導いてくださいました。

また、「一般的な音楽は極端な表現ではなく“真ん中”を追求すべきである」とのご指導のもと、曲にふさわしい音色や明確な発音で演奏する重要性についても詳しくご教授いただきました。さらに、ピアノでの学士号をお持ちの先生ならではの視点から、伴奏者には“ソリストの表現にとことん寄り添う”という心構えが必要であることもお話しいただきました。

クラリネット専攻生のみならず、他専攻の生徒にとっても大変学びの多い、充実した時間となりました。ブルックス信雄トーン先生に心より感謝申し上げます。



